

3年制、1学年80人

取

看護師等養成 機関設置検討会 素案を承認

鳥

看護師などの医療従事者不足の解消を目指す鳥取市の「看護師等養成機関の新たな設置検討会」（会長・下田光太郎鳥取医療センター院長）は27日、同市富安2丁目の市役所南庁舎で会合を開いた。

識で一致した。

素案では、県東部の医療機関での看護師不足数を考慮し、1学年は2クラス80人程度が妥当とした。また、患者のリハビリに携わる理学療法士や言語聴覚士も不足しているとして養成課程を設ける方向を固めたが、作業療法士養成課程については米子市の専門学校で定員割れとなっていることから開設は困難とした。

素案では3年制の学校として、将来の4年制への変更や看護系大学への昇格も視野に入れた学校法人を選定する方向でまとまった。

このほか、勤務しながら正看護師の資格取得を目指す看護師に配慮したコース設置を求める意見もあった。

同検討会は8月末に最後の会合を開いて最終報告書をまとめ、竹内功市長に提出する。

素案では3年制の学校として、将来の4年制への変更や看護系大学への昇格も視野に入れた学校法人を選定する方向でまとまった。

このほか、勤務しながら正看護師の資格取得を目指す看護師に配慮したコース設置を求める意見もあった。

同検討会は8月末に最後の会合を開いて最終報告書をまとめ、竹内功市長に提出する。

同検討会は8月末に最後の会合を開いて最終報告書をまとめ、竹内功市長に提出する。